



2月 保育室 すまいるだより

2022.2.14 NO.30

保育室 すまいる

<月のテーマ：協力する>

年齢別 月の保育のねらい

<0歳児>

○手や指を十分に使って遊びが広がっていく。

<1歳児>

○異年齢の友だちに関心を持つ。

<3歳児>

○ルールのある遊びの中で言葉や数の面白さを味わう。

<4歳児>

○遊びや生活の中での知恵や喜びを互いに伝え合う。

<5歳児>

○もの事に進んで粘り強く取り組む中で、友だちと互いに認め合い信頼関係を深める。

<学童>

○冬の自然に興味を持ち、追求する。

<2月の歌>

あら、どこだ!



<冬の花火大会を見に行くよ！～どろろんさいからの手紙～>

どろろんさいからの手紙のやり取りを楽しみにそして期待して待っていた子どもたち、久しぶりのどろろんさいからの手紙に興奮状態の子どもたちです。

内容は、修行をしている忍者たちへの招待状です。雪の修行のあとに冬の花火大会へのご招待!!ただし、6歳の忍者と小学生の忍者に限定されていました。

泊まる場所が確保できなかったのも、申し訳ない思いでしたが、子どもたちの中では、花火大会の花火の音が怖いから・・・と言っていた4歳のMちゃんがいたことから、何となく納得して6歳の忍者と小学生の忍者に委ねた感じになりました。手紙が来るたびにみんな大喜びで、内容をワクワク読んでいました。Tくんが「ぼくも花火大会に行きたいな・・・」と具体的に呟いていたので(他の4歳・5歳の子は自分たち宛てではないことでもまんしていた?ようです)名指しで5歳のTくんも招待されてもそれを受け入れてくれました。

当日をワクワクして向かえた子どもたち、途中でみちのく湖畔公園の休憩場でトイレ休憩をとると早速雪遊びが始まりました。誰も踏み入っていない真っさらな雪が目の前にあったのです。十分に雪遊びをし、お腹が空いたので移動。

ハートランドではさらに誰も踏み入っていない真っさらな雪。足を踏み入れるとズボツと埋まって抜けなくなるくらいの深さ・・・しばらく雪と格闘していました。前に進んでいく中で発見したのが『つらら』。太くて長いつららに魅せられて、『つらら』取りに没頭しました。時々吹く突風もものともせず『つらら』取りを楽しんでいました。

